

	ページ
アイサワ工業(株).....	37, 50
青木あすなろ建設(株).....	37, 41, 50
あおみ建設(株).....	37, 41, 50
(株)浅沼組.....	37
(株)新井組.....	37, 41, 50
(株)安藤・間.....	37, 41, 50
岩田地崎建設(株).....	37, 50
(株)大林組.....	37, 40, 41, 50, 85
(株)大本組.....	37, 41, 50
(株)奥村組.....	37, 41, 50
鹿島建設(株).....	37, 41, 50
株木建設(株).....	34, 37, 50
(株)クボタ.....	37, 82
(株)熊谷組.....	37, 41, 48, 50
(株)鴻池組.....	37, 41, 48, 50
五洋建設(株).....	37
佐藤工業(株).....	37, 41, 50
三幸建設工業(株).....	37
清水建設(株).....	37, 38, 40, 41, 50
大成建設(株).....	37, 41, 50
大日本土木(株).....	37, 50
大豊建設(株).....	37, 41, 50
(株)竹中土木.....	37, 41, 50, 88
TSUCHIYA(株).....	37
鉄建建設(株).....	21, 37, 41, 50
東急建設(株).....	29, 37, 41, 49, 50
東洋建設(株).....	37, 41, 50
戸田建設(株).....	37, 41, 50
飛島建設(株).....	37, 41, 50
西松建設(株).....	37, 41, 50
日東河川工業(株).....	7, 37, 41, 50
日特建設(株).....	37, 41, 50
日本基礎技術(株).....	37, 41, 50
日本国土開発(株).....	37, 41, 50
ピース・コンストラクション(株).....	37
(株)フジタ.....	3, 37, 41, 50
(株)北陽.....	33, 37, 41, 50
(株)本間組.....	37, 41, 50
前田建設工業(株).....	37, 41, 50
松尾建設(株).....	37, 50
三井住友建設(株).....	37, 41, 50
みらい建設工業(株).....	37, 41, 50
りんかい日産建設(株).....	37, 41, 50
若築建設(株).....	37, 41, 50

土地改良 第331号

令和7年10月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4

農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

<http://www.dokaikyo.or.jp/>

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。



「私から見た土地改良 島谷特別教授に聞く」を拝読して

我が国における稻作文明の歴史的な経緯から日本初の和歌、故 中村哲 氏の偉業、農家民泊、多面的機能まで幅広い内容でした。特にグリーンインフラである「田んぼダム」について、排水口の水量を絞らなくとも畦高が30cmで貯留効果がある一方、15cm以下では効果を発現しないとの知見は興味深かったです。そのうえで「ゆっくり流す土地改良」のとおり、流域治水と土地改良の親和性、これから利水と治水を考える機会となりました。

宮城県 50代男性 地方公務員

利水が先行し治水が後を追ったというのは事実であろう、しかも千年程度の時間差があったであろうと思う。また「住民と話しながら河川の課題を解決」とあるが、土地改良事業は住民の発意から始まるため対話は大前提である。更に近年「流域治水」がかまびすしいが、農村では規模は小さいものの古くから、分流したりため池に貯留したり、別の流れを本流にぶつけ減勢するなど、立派な流域治水を行ってきた。

歴史にイフはないが、農業土木と土木が分化せず農業土木技術者が河川行政を担っていれば、随分違った状況になっていたのではないだろうか。

新潟県 50代男性 地方公務員

効率性を求め、「早く流す」ことが頭の中心にあった、土地改良人生50年。治水を専門とする島谷氏の「ゆっくり流す土地改良」という言葉は、強く印象に残った。ため池の洪水調整機能強化や田んぼダムの実施は、雨水を下流域へゆっくり流すための近年の取組。地球温暖化による異常気象を考えると、これら取組は、地域の防災や減災に不可欠。「ゆっくり流す」という観点で既存のシステムを見直しそれば、施設等の改善や新たな事業制度の展開が考えられると思った。

宮城県 70代男性 自営業

土地改良切り語り「トランプ時代を考える」を拝読して

トランプ関税の日米交渉が行われ、今後、日本経済はどうなるのか不安に思っているなかで、第2次世界大戦以前の状況から戦後の状況を非常にわかりやすく説明いただき、大変興味深く読ませていただきました。これまで当たり前と考えていた、自由貿易が崩れるおそれがある中で、我が国の農業は、農業者の減少・高齢化、猛暑に大雨なども加わり、大変厳しい状況にありますが、農業者が安心して営農ができ、食料の安定供給が図られる時代になることを願います。

岩手県 60代男性 会社員

トランプ大統領と言う一人の奇人が偶然出現したならまだ良いのですが、歴史の流れだとしたら大変なことです。トランプ時代を考えると言うコラムが目に留まり読みました。なかなか難解でしたが、何となく理解しました。どこかの国の通貨ではない基軸通貨はありえないのでしょうか？

アメリカなどと違い資源を持たない日本は、輸出で稼いで必要な資源を輸入するしかないです。お米も問題が多いですが、自給出来ないと思うと不安でたまりません。

東京都 70代女性 主婦

「女性リレートーク」にSRHRの目線も

女性リレートークは、ほぼ毎号仕事と家庭の両立が主題であることに違和感がある。多くの若手女性にとっての不安材料であるが、そればかりだと、女性に子どもを産むこと、仕事と家庭の両立を押し付けるメッセージに見えてしまう。

SRHR（性と生殖の自己決定権）という人権概念がある。SRHRを尊重し、多様な生き方を提案するためにも、トランプ女性やノンバイナリーなど多様なジェンダーの技術者、チャイルドフリー技術者も取り上げてほしい。

新潟県 40代 会社員

本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい（掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます）。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「北太平洋産 天然紅鮭」をご用意しております。
[11月末日締切]

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4

土地改良建設協会「くろすおーばー」係

メールアドレス jigyo@dokaikyo.or.jp

P R E S E N T

北太平洋産

天然紅鮭

